人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン **まち・ひと つ ^ながる**

すぱいす

33

PR

より良い進行を学んで 議論が活性化し、 課題解決につながれば

「ミナサンカ」メンバー[写真左から] 介護支援専門員 小田 潔さん 介護支援専門員 河北 大輔さん 理学療法士 平山 誠吾さん



同士をどうやって打ち解けさせればい ぎ」「もっと意見を引き出してほしい」な ても、軌道修正できないままに討論が の意図したのと違う方向に議論がそれ いのかに四苦八苦しました。また、自分

(※)のやり方も分からず、初対面の人 を務めましたが、アイスブレイク 発足会でグループのファシリテータ

クのテクニックや、ファシリテーターと どの反省もありました。 の会議や日常の業務においても活用し ていきたいと思います。 しての心構えなどを学びました。次回 研修会では、講師からアイスブレ 一研修や会議を始める前にコ ョンの促進を目的に行う



10月に行われた研修会の様子



くまにぢ

-4回開催予定の地域連携会「ミナサンカ」。他に月1回の定例会や地域ケア会議「ミニサンカ」も行われています

おくことで、住民が困ったとき、行 力』では、住民と地域の企業(銀行、 郵便局、コンビニ、飲食店等)や医療 中身が分かりにくい。イメージは、 アシステム。の構築を推進。東区も ることができるように,地域包括ケ 自分らしい暮らしを最期まで続け 收や『ささえりあ』を通さなくても 推進方針を掲げています。 ¨共に支え合う地域』。『ミナサン 福祉のプロが出会い、語り合える 「ただ"地域包括ケア"と言っても 顔の見える関係を築いて

> 今後は実践編など、徐々にステップ 留こずえさんは、「今回は入門編。



直接つながり合い、協働できれば_

「ミナサンカ」には会長がいないの も特長。一人一人が主体的に行動す を決めて運営しています

「防災力」を強化して

いだがまりも元気な街へ! 地震前よりも元気な街へ!

成講座」の実施を提案。10月に研修

会が行われました。

同まちセンの地域担当職員

徳留 こずえさん 所長 小島 陽一さん

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン 熊本市まちづくりセンター通信 vol.9 熊本市各地域の「まちづくりセンター」の 活動報告・イベント情報をお知らせします。

区。地震の際は、住民が主体とな も熊本地震の被害が大きかった って自然発生的に安否確認など 津・桜木・桜木東・若葉の4校 益城町に隣接し、市内の中で

福祉事業者で共有し協働してい 課題を、住民や地域の企業、医療 会にもなりました。そこで、包括 を行いましたが、それは同時に、 サンカ」です。 **こうと発足した連携会が、「ミナ** ケアの実現に向け、地域にある 包括ケア」の必要性を感じる機

秋津まちセンがサポー 論の質を向上させるため

なかったグループも…。そこで、秋 津まちセンが「ファシリテーター 役割に戸惑い、うまく議論が進ま 福祉事業所の職員が務めました。 発足会では、各グループのファシ かし、普段の業務では体験しなど テーター(進行役)を、主に医療 養

省は高齢者が住み慣れた地域で、

少子高齢化が進む中、厚生労働

秋津まちづくりセンター[写真左から] 平野 猛二郎さん

秋津まちづくり センター(東区)

地域連携会「ミナサンカ」 みや地

域

長の澤池伸一郎さん。 と、ささえりあ桜木・秋津センター

に分かれ、「地域でできる見守りと は?」などのテーマについて議論し に行われた発足会では、グループ いで名付けられた同会。今年6月 「皆が参画していく会へ」との思 加し、 ます」。

できる人が、できる範囲で」をスロ 現へと歩み始めました。 ながら。みんなで支え合う地域、実 ました。ミナサンカは「できる時に、 看取る勇気」などについて議論し ·力」が開催され、「認知症の受容」 ガンに、より多くの人を巻き込み 11月15日には、約120人が参 秋津公民館で「第1 回ミナサ

アップしていきたい。議論の質 **な環境づくりをサポー** げ、多くの方が意見しやすいよう

していき を上

€0> e 💠 e

*** * * * * * * * * *** * *

わがまち 市内各校区で行われたさまざまなイベントの 様子や、これから行われる催しの情報を、まちセ Topics ンとの関わりなども交えて紹介します。 意外な銅像!?

【第19回ながなすコンサート】

飽田奏楽ネットワークとまちセンが主催し

音楽を通して参加者同士が交流を深めると

ともに、飽田地域の人材発見と文化の振興を

支援するイベント。会場/飽田まちづくりセン

時間/両日とも12時半開場、13時開演

12/9⊕·10圓

音楽を通して地域の

交流を深めよう

【 行事レポート

住民一体となって 避難訓練

【城南地域避難訓練】

城南総合スポーツセンターを会場に、消防団と校 区防災連絡会・自主防災クラブが連携し、住民の集結 : ・避難訓練を行いました。午前9時のサイレンおよび 斉放达を台図に、体育館内に集台。訓練開始式の後、 消防団は心肺蘇生法などの訓練を実施しました。

間城南まちづくりセンター **25**0964(28)2260

訓練を組織づくり にも生かす

【尾ノト校区学防災】

地元の消防団と防災クラブが企画した 防災イベント。小学生とその保護者や、災 害時に実働部隊として活動する消防団な どが参加し、公園内の地下貯水槽のくみ 上げ訓練などを行う予定。また、今回の訓 練を今後の組織づくりにも生かしていきま : す。会場/錦ヶ丘公園

時間/10時~16時 間東部まちづくりセンター **25**096(367)1949

参加者募集中!

25096(328)2232

親子で楽しく

(終演16時予定)

5096(227)1112

問飽田まちづくりセンター

「大井手」を描こう! 【大井手・白川親子スケッチ大会】

加藤清正が造ったとされる農業用水「大井手」。その歴 史や魅力を知って、スケッチしてみよう! 会場/新屋敷公 園 時間/9時~15時 集合場所/ウェルパルくまもと ※集合後、井手沿いを歩いて会場へ移動 申し込み/事 務局 (RKKメディアプランニング内) 2096 (351) 3819 [平 日 9 時30分~17時] 申し込み締切/12/28休[定員30名] 間中央区まちづくりセンター

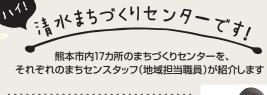
清水地域ってにんなとこ。

"市民のオアシス"八景水谷公園に

清らかな湧水が流れる公園内には、芝生 広場や「水の科学館」があり、休日ともなれ ば家族連れでにぎわうほか、高齢者の散歩 コースとしても人気です。中でも、園内の池 に約2500匹の金魚を放して行われる「夏祭り 金魚すくい大会」(8月開催)には、近隣から 多くの人が詰め掛けます。さらに、トレードマ の長鳥帽子(えぼし)をかぶっていない。 珍しい加藤清正像も見ることができますよ。

所熊本市北区八景水谷1丁目 P30台





活気ある地域の魅力を発信して 次世代につないでいきたい

地域担当 春木 綾香さん

清水、城北、高平台、麻生田の4校区が管轄ですが、校区ごとの担当 は置かず、所長と2人の職員で全校区を回っているのが特徴です。地 域全体のことが把握でき、地域行事などが重なったときも臨機応変に 対応しています。エリア内には八景水谷公園と坪井川遊水公園があり、 さまざまなイベントも実施されています。そうした活力あるまちの情報 を発信していくのが、私たちの大切な役割。対外的にはもちろん、地域 住民にも魅力を再発見してもらい、誇らしい故郷を次世代へとつなぐ 担い手になってもらえればうれしいですね。



チームワークの秘けつは、隣接する八景水谷公園でのランチミーティング

●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月~金曜·8:30~17:15)、chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp ●秋津まちづくりセンター ☎096(368)2200 ●清水まちづくりセンター ☎096(343)9162

